

来年度から部会再編

がれきコンソーシアムが全体会議



22日に開かれた第4回全体会議では、コンクリートがれき有効利用検討部会など、5つの部会が活動状況を報告するとともに、同コンソーシアムの14年度以降の体制などについて討議した

.....
具体的には、現行の▽コンクリートがれき有効利用▽がれき焼却残さ有効利用▽津波堆積土砂有効利用▽プレキャストコンクリート製品▽長期性能評価——の5つの検討部会を①がれき利活用・除染②未利用資源有効利用③拠点形成——の3検討部会に改編する方針だ。

震災がれきと産業副産物のアロケーション最適化コンソーシアム（代表・久田真東北大学院教授）は、岩手、宮城両県での震災がれき処理が順調に進み、2013年度末で完了する見通しであることから、部会を再構成する。

これにより、これまでがれきの処理・有効利用技術の開発や実用化に向けた諸課題の整理検討だった取り組みから、「がれき有効活用に関する長期安定性にかかわる評価」「未利用資源の有効活用の資源循環の枠組みの構築」にシフトする。

